

おはなしと音楽で育む心 親と子のつどい

親 子が一緒に楽しむ親と子のつどいが3月3日(火)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

これは、小学校入学前に子どもや親同士が交流を深め、学校生活を充実させてもらおうと毎年行われているもので、27組の親子54人が集まり、大型紙芝居や音楽を使ったゲームを楽しんだり、人形劇を鑑賞したりしました。

このうち、音楽や歌のリズムにあわせて親子で手を合わせるゲームでは、子どもたちの賑やかな笑い声が会場に響いていました。参加した保護者は「親子で一緒に楽しめることができて、子どもたちもとても楽しそうにしていました。」などと話していました。



あたたかい福祉のまちづくり いきいき大石田福祉のつどい

い きいき大石田福祉のつどいが2月22日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

開会行事では大石田南小学校の児童による大黒舞と大石田町民謡研究会の芳賀清さんによる最上川舟唄が披露されました。

その後、老人クラブ活動に尽力された方々への町社会福祉協議会会長表彰が行われ老人クラブや個人などが表彰を受けました。

また、虹のプラザの施設内では、手芸作品や絵画、竹細工などの作品のバザーなどのほか、保健師による健康測定コーナーや、食生活改善推進員連絡協議会が北村山高校の生徒と考案したフレイルを予防するメニューの提供も行われ、会場は多くの人で賑わっていました。



東北学院大学による 除雪ボランティア

東 北学院大学などの学生34名による除雪ボランティアが2月12日(木)に町内一円で行われました。前半は、雪かきの前の体操を行い、その後、国土交通省克雪体制づくりアドバイザーの二藤部久三さんによる雪かき講習が行われ、後半では、地区へ出向き、ひとり暮らし世帯などの除雪にあたり、雪の重さに苦戦しながらも汗を流していました。

参加した柿谷敦月さんは、「雪が多いところの出身で、雪の大変さを知っていたので、除雪ボランティアに参加して良かった。」と話してくれました。



スマホを使えるように 無料のスマホ教室を開催

ス マートフォンを持っているけれど、使い方が分からない、もっと便利に使いたいなどの悩みを解決するため、町主催で無料のスマホ教室が虹のプラザ「小会議室」で開催されました。

これは、ドコモショップ村山店の協力で実施されたもので、今年は1～2月の毎週木曜日に開催されました。

受講者は、自身のスマホを使い、カメラの使い方等の入門編、オンライン手続きの基本編、SNS利用の活用編など、徐々にスマホの使い方を学んでいました。参加者は、「すべてに参加したが、自分で情報を取れるようになった。特にAIの便利さに驚いた。」と話していました。



そば街道振興会が水明苑を訪問 利用者とそば打ちで交流

そ ば店12店舗で組織する大石田そば街道振興会(芳賀清会長)の会員が2月26日(木)に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたて茹でたてのそばを振る舞いました。

これは、同会がおいしいそばを味わってもらおうと、毎年実施しているものです。この日は、そば打ち体験も行われ、利用者は、「こね、のし、きり」の工程に挑戦しました。

最後に、茹でたてのそばが振る舞われ、利用者はおいしい大石田そばに舌鼓を打っていました。



初めての買い物 園児がカクイチ商店で体験

カ クイチ商店の協力により、大石田保育園の園児が、2月26日(木)に初めての買い物体験を行いました。

この日は、翌日に作るカレーの具材を自ら買うために、それぞれ、目標の具材を探してお店の中を散策しました。

園児たちは、お目当ての食材を見つけると、「あった！」と嬉しそうにカゴの中に入れて、お会計をしていました。